

受賞報告

法政大学理工学部創生科学科 松尾由賀利
 応用物理学会 2015 年度 APEX/JJAP 編集貢献賞
 受賞日 2016 年 4 月 6 日

概要

APEX/JJAP は、日本の応用物理学会が発行する英文学術誌 Applied Physics Express / Japanese Journal of Applied Physics の略称です。

筆者は、2001-04 年度に Associate Editor、2005-10、2012-15 年度に Editor として、APEX/JJAP の編集運営に携わり、2013 年度には Chief Executive Editor (編集運営委員長) を務めました。この間に Editor および Reviewer として編集に大きく貢献をしたと認められ、2015 年度 APEX/JJAP 編集貢献賞を受賞いたしました。

JJAP は 1962 年に創刊され、55 年の歴史を持つ学術・技術アーカイブとして歴史のある国際ジャーナルです。現在、年間約 1450 論文が掲載されており、海外からの投稿も盛んで、2007 年より海外の投稿数が国内を上回っています。

APEX は、2008 年に JJAP のレター部門が独立して創刊された高インパクト、速報性を持つ国際レタージャーナルで、年間約 400 論文が掲載されています。2010 年から投稿数が急激に増加し、瞬く間に海外からの投稿数が国内を上回りました。海外からの投稿が 7 割を占め、特に東アジアの国々からの投稿が目立ちますが、近年では、欧米からの投稿、掲載も増加しており、非常に国際性の高い論文誌です。また、インパクトファクターという論文の引用数を元に計算される指標で 2.3 前後をキープしており、物質科学、応用物理系の世界の主要ジャーナルと比較しても、国際競争力のある英文学術雑誌であると言えます。2014 年には英国 IOP Publishing との業務提携が締結され、国際的な販路をさらに広げています。

学会の英文学術誌発行においては、Editor と Reviewer によって論文掲載可否判断が行われますが、このほとんどが研究者のボランティア的労力に依っています。こういった努力により、自国において論文を正しく評価するシステムと実力の構築、先進的な成果について日本からの情報発信能力の向上・維持、日本での成果の著作権の海外流出防止、などに寄与していると自負するものです。2014 年ノーベル物理学賞の受賞対象となった青色発光ダイオードに関連する論文の多くが JJAP から発表されました。このような国際学術誌の編集の一翼を担えたことを光栄に思います。

